



近距離見学会@防衛装備庁艦艇装備研究所

一般人では入ることのできない外部研究機関の施設見学と研究室OBとの懇談

2018年10月31日に、研究室の年中行事である「近距離見学会」を実施しました。今回は、防衛省防衛装備庁・艦艇装備研究所（東京都目黒区、艦装研）を訪問しました。

艦装研は、旧帝国海軍の海軍技術研究所からの歴史を持つ研究所であり、艦艇とその装備品に関する最先端の試験設備をそろえた研究所です。都心の一等地に広大な敷地を有し、歴史を感じさせる建屋が並びます。

今回の見学では、展示室、フローノイズシミュレータ、大水槽、衝撃・振動実験棟、および高速風洞を見学させていただき、各研究部門の研究者から説明を受けました。各施設

は、大学での研究施設と比較すると大規模なであり、また、米国を中心とした国際連携もしながら、日本の自衛隊が必要とする装備品に直結した研究開発が実施されていました。特に、高速風洞（正確には、艦装研ではなく陸上装備研究所所管）は、戦前に戦艦大和の主砲弾（直径46cm）の空力特性計測に使われたということで、歴史的にも重みのある施設でした。

見学後は、高速風洞での見学対応をいただいた当研究室OBとガーデンプレイスで懇談会を開き、装備庁での仕事や就活関連のお話で学生との交流を深めました。